

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成20年7月10日(2008.7.10)

【公開番号】特開2006-37101(P2006-37101A)

【公開日】平成18年2月9日(2006.2.9)

【年通号数】公開・登録公報2006-006

【出願番号】特願2005-211211(P2005-211211)

【国際特許分類】

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

C 0 8 K 5/5313 (2006.01)

C 0 8 K 9/00 (2006.01)

C 0 9 K 21/12 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 101/00

C 0 8 K 5/5313

C 0 8 K 9/00

C 0 9 K 21/12

【手続補正書】

【提出日】平成20年5月27日(2008.5.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 1】

有利なホスフィン酸塩はトリスジエチルホスフィン酸アルミニウム、トリスメチルエチルホスフィン酸アルミニウム、トリジフェニルホスリン酸アルミニウム および それらの混合物がある。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 3】

他の有利なホスフィン酸塩にはビスジエチルホスフィン酸亜鉛、ビスメチルエチルホスフィン酸亜鉛、ビスジフェニルホスフィン酸亜鉛 および それらの混合物がある。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 3】

成分 A は、好ましくはアルミニウム、亜鉛、チタン、ジルコニウムおよび / または錫の化合物、即ち第 7 主族の無機性アニオンを有するもの（ハロゲン化物）、例えばフッ化物、塩化物、臭化物、沃化物；第 7 主族のオキソ酸のアニオンを持つもの（ヒイポハライド類、ハライト類、ハロゲン酸塩類、例えば沃素酸塩類、過ハロゲン酸塩類、例えば過塩素酸塩）；第 6 主族のアニオンを有するもの（カルコゲン（カルコゲニド類）、例えば酸化物、水酸化物、過酸化物、超酸化物；第 6 主族のオキソ酸のアニオンを持つもの（硫酸塩

、硫酸水素塩、硫酸塩水和物、亜硫酸塩、ペルオキシ硫酸塩類)；第5主族のアニオンを持つもの(プニコゲニド類：pnicogenides)、例えば窒化物類、リン化物類；第5主族のオキシ酸のアニオンを持つもの(硝酸塩、硝酸塩水和物、亜硝酸塩、リン酸塩、ペルオキシリン酸塩、亜リン酸塩、次亜リン酸塩、ピロリン酸塩類)；第4主族のオキシ酸のアニオンを持つもの(炭酸塩類、炭酸水素塩類、水酸化物炭酸塩、炭酸塩水和物、珪酸塩、六フッ化珪酸塩、六フッ化珪酸塩水和物、錫酸塩)；第3主族のオキシ酸のアニオンを持つもの(硼酸塩、ポリ硼酸塩、ペルオキシ硼酸塩)；擬ハロゲン化物(チオシアナート類、シアナート類、シアニド類)；遷移金属のオキシ酸のアニオンを持つもの(クロム酸塩、クロマイト類、モリブデン酸塩、過マンガン酸塩)である。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0088

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0088】

有利に使用できる本発明の添加物は、式(III) ~ (VIII)の窒素化合物